

展示期間：2025年9月23日(火)～9月29日(月)
 展示場所：大阪・関西万博会場内フューチャーライフヴィレッジ(FLV)



大阪・関西万博会場内FLV
 (フューチャーライフヴィレッジ展示エリア)

2025年日本国際博覧会協会提供画像を
 加工して作成

フューチャーライフヴィレッジの位置図
 参照：フューチャーライフヴィレッジ | EXPO 2025 大阪・関西万博公式サイト

<https://www.expo2025.or.jp/future-index/future-life/flv/>



Wood Change 2025
 林野庁特設ウェブサイト
<https://rinya-expo2025.maff.go.jp/>

森林大国の日本には、私たちの生活に使える「木」がたくさんあります。そのような「木」に囲まれた生活は、癒やしやリラックスといった心理面だけでなく、免疫アップといった身体面の効果ももたらしてくれます。

また、私たちが悩ませる花粉症問題の解決には、スギやヒノキを使って花粉の少ない苗木に植え替えることが必要です。

木材を暮らしの中に取り入れる「ウッド・チェンジ」は、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用に繋がります、日本の森林を育てることができます。

日本の木材を活用した様々な製品の魅力を感じていただくため、林野庁は、大阪・関西万博のフューチャーライフヴィレッジにおいて、「ウッド・チェンジ」の展示を行います。

詳しくはこちらのウェブサイト上で随時情報を更新していきますのでご確認ください。



木づかい運動で
 ウッド・チェンジ！
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/top.html>

また、木材利用の最新事例を発信する「木づかいシンポジウム2025 in 万博」(9月23日(火曜日) フューチャーライフヴィレッジ内ステージ)の詳細は順次、林野庁ウェブサイトに掲載します。

ウッドデザイン賞受賞作品 フューチャーライフヴィレッジで展示予定!



monacca



TANZAKU Lamp



木硯



木製フイングラスIPPONGI

シリーズ

大阪・関西万博

「Wood Change 2025」を開催



福島の復興に向けた新たな広葉樹活用の 取組を大阪・関西万博でPR

2011年3月11日に発生した東日本大震災から14年が経過しましたが、東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の影響が森林には未だに残っていることをご存じでしょうか。

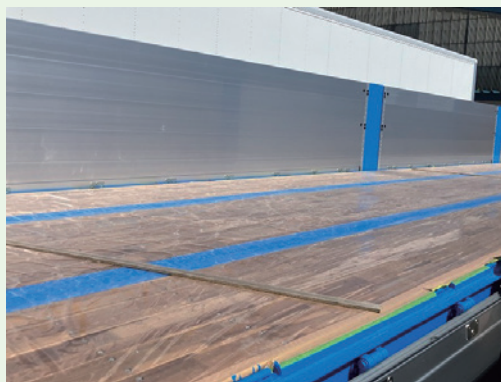
例えば、原木しいたけの栽培に必要な原木は、コナラ等の広葉樹林を約20年サイクルで伐採・更新することにより生産されます。震災前、福島県は全国有数のしいたけ等原木の生産地でしたが、放射性物質の影響により現在でもほとんど出荷できない状況が続いていることから、原木となる広葉樹林の伐採・更新が進んでいません。

このため、林野庁では、伐採・更新による循環利用が図られるよう、計画的な原木林の再生に向け、2021年度から福島県、福島県森林組合連合会及び福島県木材協同組合連合会等と連携して「里山・広葉樹林再生プロジェクト」を推進しています。

本プロジェクトでは、計画的な伐採・更新を進めるとともに、伐採後のぼう芽（伐採した切り株から発生する新芽）更新木の放射性物質濃度の調査を行うほか、伐採した広葉樹の利用拡大等に関係者が連携して取り組んでいます。この利用拡大の取組の一つとして、伐採したコナラ



コナラ原木林



トラック荷台に架装したコナラ床板



コナラ床板の製造

等を新たにトラック荷台の床板として活用する取組を進めています。トラック床板への活用は、大阪市に本社を置くト



万博での福島県産コナラの展示

ラック床板の大手メーカーである越井木材工業株式会社のほか、北海道運輸株式会社及び日本フルハーフ株式会社のご協力を得て進めています。床板に使用するコナラは、床板に加工する前に放射線量を測定して問題ないレベルであることを確認しています。また、コナラはトラックの床板として十分な強度性能があり、今後の利用拡大が期待されています。現在、大阪・関西万博のよしもとパビリオンにおいて、福島の復興支援の観点から床板に製品化する前のコナラ板をフェンスとして設置し、復興支援のPRを行っています。万博に行かれた際はぜひお立ち寄りください。

